

アクションプログラム(第1版) 工程表

		平成26年度		平成27年度～
		10月～12月	平成27年1月～3月	
ネット 地域連携 ネットワーク等	○地域における連携ネットワークの構築・支援	○他地域のモデルとなり得る協会等の取り組み事例の調査・分析 ○具体的な取り組みに対する支援として団体等を選定(5件程度)	○選定した団体等に対して支援開始	○新たに10件程度選定(各ブロック1～2件程度)
	(1)プログラム・教材等の整備 ○若年者の入職促進に係るプログラム・教材等について ○初任者及び入職後2年目～5年目に係る教材等について ○建設関連職業訓練校等連絡会議との連携	<p style="text-align: center;">年内にプログラム・教材等WG設置</p> <p style="text-align: center;">↓</p> OWGにおいてプログラム・教材の収集・検証 ・工業高校生等を対象としたプログラム・教材等 ・工業高校教員等を対象とした実践的な研修等 ・職業訓練校等が使用している既存教材、プログラム等 ・建設企業等が求める職業訓練の内容等		○利用できる既存プログラム・教材の活用に向けた条件整備 ○必要となる新たなプログラム・教材の開発
教育訓練等基盤の充実・強化	(2)講師の発掘・育成	○各職業訓練校等における講師候補者等の発掘 ○建設マスター、登録基幹技能者を講師として活用検討	○情報の整理・検証 OWGによる講師養成コースのプログラム・教材の検討	○富士教育訓練センターにおいて講師養成の仕組み構築 ○全国版講師DBを作成
	(3)人材確保・育成に関する情報等集約及び提案	○情報収集(各地域における連携ネットワーク情報、厚労省助成金メニューの効果的活用方法、研修会実施情報、優良事例 等)		○情報整理及び提案
	(4)若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進	○コンソーシアム専用WEBページを立ち上げ、建設産業担い手確保・育成コンソーシアムに関する各種情報について適宜情報提供		
	○建設産業の担い手確保・育成を図るためWEBサイトの充実	○「建設現場へGO！」 ・コンテンツ素材の情報収集・整理及び提案 ・「建設現場へGO!」のロゴマーク活用による周知 ○「18歳のハローワーク」 ・各職種における若手・中堅・ベテラン等の立場における仕事内容の紹介について順次追加 ・体系的な理解を深めるため施工体系図等を活用 ○「建設産業で働く女性がカッコイイ」 ・女性マスター受賞者の座談会(11月公開予定)		○順次充実を図る
ネット 職業訓練校 ネットワーク	○連携可能な職業訓練校等の支援 ○建設関連職業訓練校等連絡会議立ち上げ	<p style="text-align: center;">建設関連職業訓練校等連絡会議設置 年内に富士において第1回会議を開催(「富士サミット」)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> ○連携可能な職業訓練校の調査及び発掘 ○優良事例の調査		○情報の整理・検証 ○連携体制の強化、情報共有 ○優良事例等の情報提供